



平成20年6月18日

各 位

会社名 株式会社 資 生 堂  
代表者名 代表取締役社長 前 田 新 造  
(コード番号 4911 東証第1部)  
問合せ先 財務部 I R 室長 齊 藤 幸 博  
(TEL. 03-3572-5111)

## 株式会社ザ・ギンザの構造改革について

資生堂は、グループ全体の経営基盤強化と価値向上に向けた取り組みの一環として、当社の子会社である株式会社ザ・ギンザ(以下、(株)ザ・ギンザ)の構造改革を行うとともに、ブティック事業から撤退することとしましたのでお知らせします。

### 1. 構造改革の概要

当社は、本年度よりスタートした3ヵ年計画において、「日本をオリジンとし、アジアを代表するグローバル企業」を目指しています。当社が将来に亘り成長を遂げ、グローバル企業の一員として存在感のあるポジションを獲得するには、社内外の美容や健康に関する様々なリソースを集約・融合しながら資生堂ならではの情報として発信していくことが重要であると捉えています。

これまで(株)ザ・ギンザは、グループ内化粧品の小売販売や国内空港免税店への化粧品卸販売を行う化粧品販売事業と、セレクト系ファッションブティックとして衣服や服飾雑貨のデザイナーズブランドやオリジナルブランドの販売を行うブティック事業などを手がけてきました。

今後は、化粧品販売がオリジンである(株)ザ・ギンザ「本店」を、創業の地である銀座の場の力を活かした最新情報発信拠点と位置づけ、ここで得られたノウハウを資生堂の本業である国内外の化粧品事業及び化粧関連事業に還流させる戦略的なマーケティング装置へと進化させてまいります。

### 2. ブティック事業の撤退について

(株)ザ・ギンザのブティック事業については1975年のスタート以来、セレクトショップの草分け的存在として、わが社のファッションイメージを牽引する役割を果たしてきましたが、市場環境、競争環境が大きく変化するなかで、そのビジネスモデル自体が大きく優位性・差別性を失いつつあることから、前述の構造改革に合わせ撤退することとしました。具体的な撤退時期については、08年度中の撤退を前提に、お取引先さまと調整し店別に決定してまいります。なお、(株)ザ・ギンザは現在21店舗で営業していますが、化粧品販売のみを行っている3店を除く18店が撤退の対象となります。

### 3. 当面の(株)ザ・ギンザ「本店」の営業について

(株)ザ・ギンザ「本店」は、入居している「ザ・ギンザビル」の老朽化にともなう建替え計画により、09年1月をもって閉店する予定です。当面は、近隣の仮店舗での営業となりますが、この仮店舗において様々な実験・検証を行ったうえで、情報発信拠点としての新「本店」をオープンさせる計画です。

### 4. (株)ザ・ギンザの概要(2008年3月31日現在)

(1) 商号	株式会社ザ・ギンザ
(2) 代表者	川島 拓生
(3) 本店所在地	東京都中央区銀座7丁目8番地10号
(4) 設立年月日	1941年1月7日
(5) 主な事業	化粧品、衣料、雑貨の販売
(6) 決算期	3月31日
(7) 従業員数	286名
(8) 資本金の額	100百万円
(9) 発行済株式総数	520,000株
(10) 株主構成	株式会社資生堂(96.9%)
(11) 売上高	9,628百万円

### 5. 今後の見通し

本件が平成21年3月期の当社業績(連結、単体)に与える影響は軽微であります。

以 上